置賜広域病院組合／公立置賜総合病院

# 広報 おきたま病院

第14号
平成28年12月

**各種指定等**

救命救急センター
第二種感染症指定医療機関
SARS入院治療指定病院
地域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院
エイズ治療拠点病院
災害拠点病院
臨床研修指定病院
地域医療支援病院



ドローンを用いて上空から撮影しました。
緑に囲まれた中に当院は立地しています。

目 次

p02 院内での主な出来事

p04 シリーズ・健康講座・診療科紹介
眼腫瘍について

p06 公立置賜総合病院の
上手な利用の仕方

p08 職業・制服紹介
看護師等修学資金貸与制度のご案内

## 病院理念
## 心かよう信頼と安心の病院

### 運営方針

1 患者本位の医療を展開いたします。
2 高度・救急医療を提供いたします。
3 健全経営の確保に努めます。
4 人材を育成いたします。
5 地域連携の推進に努めます。
6 快適な療養環境を提供いたします。

# 院内での主な出来事

## 7/30 おきびょう夏フェス2016 救急フォーラム置賜2016



開催当日は天候にも恵まれ、昨年を大きく上回る約1,000名の方にお越しいただき、大変な盛り上がりを見せました。院内各所では地域の皆様に、病院を身近に感じてもらえる様々な体験をしていただきました。来年も開催予定ですので皆様のお越し、心よりお待ちしております。












## 9/1～ 職員募集映像を制作しました



9月1日から1週間かけて院内さまざまな場所で職員募集映像の撮影を行いました。今回撮影した映像は①病院紹介編、②研修医編、③看護師編、④メディカルスタッフ編（薬剤部等）の4部構成でできております。**医療現場で働くスタッフの緊張感や、普段見られない表情まで見ることができるものとなりました。**地域のみなさまにとっては病院職員がより一層身近に感じることができ、将来医療スタッフを目指す方にとっては一緒に働きたいという意欲が湧くのではないでしょうか。病院ホームページにアップしておりますので**ぜひ皆さん一度ご覧になってください！**


















# 10/1 災害時医療救護訓練



山形盆地断層帯を震源とする地震に伴う大規模災害を想定し、東北ブロック各県DMATと医療機関との連携強化を目的とした訓練が当院で実施されました。当院は災害拠点病院とされており、地震等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院とされております。





















**DMATとは…？**

「災害派遣医療チーム」のことで専門的な訓練を受けた医師、看護師等からなり、災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チームです。当院では３隊があり、東日本大震災にも出動しました。

# 眼腫瘍について

眼　科●髙　村　　浩



## まえがき

眼腫瘍とは眼部にできる「できもの」で、他の体の部位と同じように､「良性腫瘍」と癌などのような「悪性腫瘍」があります。眼部とは､いわゆる目玉の中（眼内）だけではなくて眼窩（頭蓋骨で眼球が入っている骨のくぼみ)、眼瞼（まぶた)、結膜（しろめ、あかめ）の４つの部位からなります。

眼科の病気と言えば、白内障、緑内障、眼底出血などの網膜疾患が主で、当公立置賜総合病院眼科でも大部分の患者さんがそれらでかかっています。そのなかで、眼腫瘍の患者さんは全体のせいぜい５％くらいで、年間50～60人程度と少ない病気です。

眼腫瘍ができるとどうなるのかと言えば、眼瞼や結膜は顔の真ん中でとても目立つ場所なので腫瘍ができると「変なものがついてる」とか「正常の形が崩れる」とか美容的な問題が発生します。眼窩に腫瘍ができると眼球が前方に飛び出す「眼球突出」や眼球が動きづらくなってモノがダブって見える「複視」などが生じます。眼球の中に腫瘍ができるとモノが歪んで見えたり、視力が下がったりします。目が充血したり、眼痛をきたしたりすることもありますが、なにより腫瘍が「悪性」であれば命の危険も出てきます。良性腫瘍と悪性腫瘍の比率は３～４対１くらいで良性が多いですが、眼腫瘍で命を落とす人も稀におります。

よって眼科の病気の中で数が少ないからと言っても大変なことになる危険があるので、的確な診断と治療が必要です。典型的な眼腫瘍は診断もつきやすいのですが、ときにあまり腫瘍っぽく見えない場合があるので厄介です。本当は悪性腫瘍なのに、腫瘍ではない病気のような顔をして潜んでいるものがあり､それを「仮面症候群」と言います。以下に仮面症候群を呈する恐ろしい眼腫瘍のいくつかを紹介します。

## 霰粒腫や麦粒腫のような眼瞼脂腺癌

眼瞼の一部に肉芽が貯まったり（霰粒腫)、膿が貯まったり（麦粒腫＝ものもらい）して丸く膨れてくる病気があります。これらは切除したり、針で膿を出せば治ります。これらのような顔をしている脂腺癌という悪性腫瘍があります（死亡率約10%)。特に高齢者の霰粒腫のようにみえるもので切除しても何回も再発する場合は要注意です（図１)。見逃さないためには病理検査という検査が重要です。さらに脂腺癌はまぶたが赤くなる眼瞼炎にも似ていることがあります。目薬や軟膏をつけてもなかなか治らず、まつ毛が抜けてきたら要注意です。

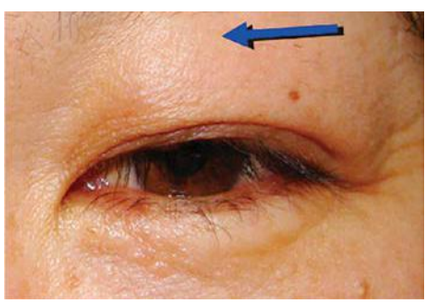


図1a：霰粒腫に似た脂腺癌

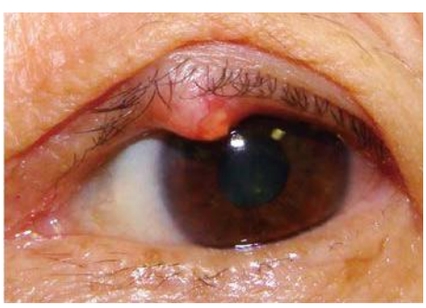


図1b：麦粒腫に似た脂腺癌



## ぶどう膜炎のような眼内悪性リンパ腫

目の中に炎症という濁りが出てかすんで見えたり、充血するぶどう膜炎（虹彩炎など）という病気があり、多くの場合、ステロイド剤の目薬で治ります。これに似たような顔をするのが眼内悪性リンパ腫で、脳に転移して死亡する非常に危険な病気です。ぶどう膜炎と言われて長期間ステロイドの目薬をしているのにさっぱり治らないときは要注意です。

## 翼状片のような扁平上皮癌

球結膜（しろめ）の一部が角膜（くろめ）の方に膜が張ったように伸びてくる翼状片という病気があります（図２a）。翼状片は必要時に切除すれば治ります。これに似ているのが結膜扁平上皮癌です（図２b）。進行の程度によっては目玉ごと取り出さなければならない眼球摘出を余儀なくされる場合もあります。扁平上皮癌は表面に細かい血管が多数生えていることが特徴で確実に診断するには病理検査が必要です。また、ごくまれですが、涙嚢炎や眼窩蜂窩織炎のようにみえる扁平上皮癌もあります。涙嚢炎や眼窩蜂窩織炎はばい菌（細菌）が目と鼻の間の皮膚の奥にあるなみだ袋（涙嚢）や眼窩のなかに感染して真っ赤に腫れて痛く、ときに発熱する病気で抗生物質を投与すると治ります。扁平上皮癌に抗生物質は効きません。

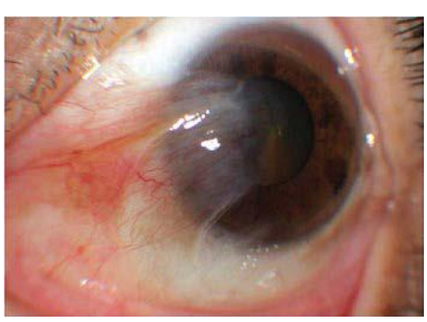


図2a



図2b

## アレルギー性結膜炎のような結膜悪性リンパ腫

花粉症の時期に目がかゆくなり、ゴシゴシ目をこするとしろめに水がたまってブヨブヨになるアレルギー性結膜炎があります（図３a）。結膜悪性リンパ腫はこれに似たような顔をしています。アカンベーをするとしろめとあかめの境目にピンク色の帯状の塊が見えます（図３b）。基本的にかゆみはありません。確定診断には病理検査が必要です。

今はCT検査、MRI検査、PET/CT検査などの画像検査をはじめ、遺伝子検索も含めた病理検査、さらに重粒子線治療や治療薬も非常に進歩してきており、以前は治せなかった腫瘍も治せるようになってきています。

それでもかなり進行してしまった腫瘍には治す手段がないのは今も同じです。よって仮面症候群にだまされていたずらに時間を過ごさず、「早期発見・早期治療」の原則を貫く姿勢が大事です。

自分は眼腫瘍ではないかと心配な方は、当公立置賜総合病院眼科、あるいは山形大学眼科を受診されることをお勧めいたします。

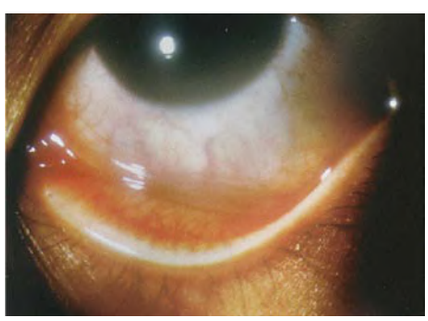


図3a



図3b

# 公立置賜総合病院の上手な利用の仕方

## Point1 ❊ 公立置賜総合病院＝急性期病院

急性期病院とは比較的重症度の高い患者さんに対して入院・検査、手術など高度な医療を提供するような病院のことを言います。地域の拠点病院として、当院が急性期病院を維持していく上で、地域の皆様に知っていただきたい重要な事項がございます。

## Point2 ❊ かかりつけ医を持ちましょう



かかりつけ医とは、私たちの身近に居て、日頃からの健康相談や病気になったときは初期の医療を行ったりする医師をいいます。熱があるだけで、当病院にかかったら長時間待たされ、あげくに診察がわずかな時間だったということはよくお聞きします。そのようなときは、まずかかりつけ医を受診すれば、待ち時間も少なく診察を受けることが出来ます。病院にかかろうと思ったらまず、地域のクリニックや医院の先生に頼りましょう！かかりつけ医の先生方は親身になって応対してくださいます。

## Point3 ❊ 紹介状をお持ちください



かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただきますと、今までの治療経過を活かして当院の診療がスムーズに行えます。また、かかりつけ医からあらかじめ連絡をいただき来院日の調整をすることにより、当日はお待たせすることなく、受診される診療科へご案内することが可能となります。

紹介をいただき、病院での検査や治療が終了したら、今度は病院からかかりつけ医に治療経過を報告し、その後のかかりつけ医での治療に役立てます。このように紹介状がかかりつけ医と病院との架け橋となり、より継続した適切な医療を受けられるようになります。

なお、紹介状を持参せず来院された場合は、「非紹介患者初診加算料（選定療養費）」として1,620円（消費税込み）を患者さんにご負担いただいております。

## Point4 ❊ 非紹介患者初診加算料（選定療養費）とは…

Point3の最後にでてきたこの言葉。あまり聞き慣れないかと思います。これは文字通り病状にかかわらず紹介状なしで当院を選んで来られた患者さんからは余計にお金をいただくという公的な制度です。Point１にも記載されておりますが、公立置賜総合病院は急性期病院ということで置賜地域の中核病院の役割を担っています。「ちょっと風邪気味だから置総へ」などと、そういった患者さんが増えてしまえば、急性期病院である当院が本来診るべき患者さんに手が回らなくなるといったことが起きてしまいます。

## Point5 ❊ 医療連携について

今日の医療環境では、１つの医療機関のみですべて解決というのは難しくなってきております。そのため公立置賜総合病院ではサテライト施設（長井、南陽、川西、飯豊）及び、近隣の医療施設と連携・協力し合って、それぞれの役割を果たしながら医療にあたること、つまり、地域内で役割分担をして、医療連携を進めていく地域完結型医療を目指しております。当院では地域の医療連携と医療機能分化を目標に専門窓口として「医療連携・相談室」を設置しております。患者さんは医療に関して不安や悩みを持つことは少なくありません。そのようなときは当院の専門相談員が問題の解決にお手伝いをしています。

## 救命救急センターの利用について

救命救急センターでは **院内トリアージ** を実施しております。

**《院内トリアージとは》**

医師の診察前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、緊急度・重症度を判断する仕組みです。
より早期に治療を要する患者さんを優先して診療いたします。
受け付け順の診察とは限りませんので、待ち時間が長くなる場合があります。御理解と御協力をお願いいたします。

### 救急医療体制の区分を知っていますか？

院内トリアージでは5段階の救急度判定を行っていますが、一般的に、救急医療において患者さんを3つに区分しています。

**1次救急**：入院を必要としない外来での対処が可能な患者群
**2次救急**：入院と手術が必要だが、緊急度が低い患者群
**3次救急**：緊急入院と緊急手術が必要な患者群

### 【院内トリアージ】

5段階の緊急度判定（JTASに準拠）

| |
|---|
| レベル１：蘇生レベル |
| レベル２：緊急 |
| レベル３：準緊急 |
| レベル４：低緊急 |
| レベル５：非緊急 |

レベル１が最も緊急度が高い

**公立置賜総合病院の救命救急センターでは 約80%の患者さんが１次救急 となっています。**

## 休日診療について

休日（日曜日、祝日）には、南陽市東置賜郡医師会と長井市西置賜郡医師会で行っている休日診療所が開設されています。急な発熱などにより体の具合が悪くなったときで、比較的症状が軽いと思われる場合は休日診療所のご利用をお願いします。

### 南陽東置賜休日診療所

◆診 療 日　日曜日･祝日
◆診療時間　9時～17時
(受付:8時45分～11時45分、13時～16時30分)
◆診療科目　主に内科、小児科
◆場　　所　南陽市東置賜郡医師会館前
◆連 絡 先　0238-40-3456




### 長井西置賜休日診療所

◆診 療 日　日曜日･祝日
◆診療時間　9時～17時
(受付:8時30分～11時30分、13時～16時30分)
◆診療科目　内科、小児科、外科
◆場　　所　長井市保健センター内
◆連 絡 先　0238-84-5799




## 平日夜間協働診療について

救命救急センターにおける平日夜間救急診療の一層の充実と当院に勤務する医師の負担軽減を図るため、平成21年４月より南陽市東置賜郡医師会と長井市西置賜郡医師会の開業医の先生方より御協力をいただき、救命救急センター平日夜間の協働診療を実施しています。

●**診療時間帯**　　平日の午後7時から午後10時までの3時間
●**応 援 医 師**　　南陽市東置賜郡医師会22名、長井市西置賜郡医師会9名　　計31名（平成28年4月現在）
●毎日１名ずつ交替で応援診療を行っていただいております。応援医師は、主に初期救急患者の皆さんを担当します。

# 職業・制服紹介（part2）



## 薬剤師

調剤や服薬はもちろん、専門的な知識を用いて患者さん・他の医療スタッフを支えています。



## 診療放射線技師

様々な機器を用いた高度な検査を行い、診療や治療を支えています。



## 臨床検査技師

患者さんに対してベストな診断・治療を行えるよう日々様々な検査を行っています。



## 理学療法士 作業療法士

患者さんのより早い回復・復帰を肉体面はもちろん、精神面からも支えています。



## 管理栄養士 調理師

当院に入院されている患者さんを「食」の面から支えています。



## 臨床工学技士

医療機器を安全に使用するための操作や管理を行っています。

★今年度広報誌でシリーズ化して各職種を紹介しております。



# 平成29年度 看護師等修学資金貸与制度のご案内

卒業後、当病院組合へ就職を希望する看護学生へ修学資金を貸与し、学業の支援を行います。

**対 象 者** 次のいずれも満たす方
①平成29年度に看護師又は助産師を養成する施設に入学予定（在学）している方
②卒業後、直ちに当病院組合に看護師等として勤務する意思のある方

**貸 与 額** 月額5万円（無利子）年額60万円

**返済免除** 卒業後、貸与を受けた期間の1.5倍を当病院組合で勤務すると免除されます。

**募集期間** 平成28年11月7日～平成29年2月10日

**応募方法** 案内を看護学校や市役所等のほか、当病院組合ホームページに掲載を予定していますのでご覧ください。

**修学資金貸与制度の仕組み**

修学資金に申込
↓ ……必要書類の提出
審査（面接／書類）
↓ ……2月下旬面接予定
決 定
↓ ……3月下旬決定通知
修学資金の貸与
↓ ……在学期間中にわたり貸与
置賜広域病院組合に就職
↓ ……貸与期間の1.5倍勤務
返済免除

発 行 置賜広域病院組合／公立置賜総合病院
編 集 広報委員会（事務局：総務企画課 企画担当）☎0238-46-5000
ホームページアドレス
http://www.okitama-hp.or.jp/